

港灣課

- 新規評価箇所検討一覧表 (BBB 評価以上) …P1
- 新規事業概要
 - 港灣整備事業 …P3
- 公共事業新規評価調書 (整備系) …P5

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			公 ・ 車	完成 予定 年度	重 要 施 策 との 関 連 性 (他 事 業 との 関 連 含 む)	新規評価に至った経緯
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置 づけ	必 要 性 ・ 効 果	美 施 環 境				
1	港湾	産業活性化	港湾整備事業	伊万里港	伊万里市		山代町	臨港道路4車線化 L=2,890m	A	A	I	約2,000	R14		港湾計画上、久原臨港道路は4車線の計画となっているが、現状は暫定2車線で整備・供用している。2025年のSIMCO増設工場のフル稼働に伴い、伊万里団地に係る物流・人流、また七ツ島地区と往来するコンテナ車面などで、特に朝夕の出入退動時の渋滞が懸念されるため、4車線化の整備が必要である。
2	港湾	生活関連	港湾整備事業	住ノ江港	小城市		芦刈町	臨港道路改良 L=411m	A	A	I	150	R7		住ノ江西1号臨港道路は、近年、物揚場に25tクレーンを配置し、漁船から資材の搬入・搬出を行うようになっている。漁などの繁忙期には車両が混雑し、海上に漁船が待機し非効率な荷役を強いられる。これを解消するため作業車が既設進入路から新設進入路に抜ける導線の確保が望まれている。

港湾整備事業

地域交流部 港湾課

港湾整備事業とは...

事業の目的

港湾施設(水域施設、外郭施設、係留施設、臨港交通施設及び港湾施設用地)の建設又は改良の港湾工事を行うことにより、港湾を利用する一般公衆の利便性の向上を図ることを目的として整備を行う。

整備前



整備後 (星賀港 星賀2号物揚場)



公共事業新規評価調書(整備系)

部 名	地域交流部	記 入	港湾課	課 長	中西 正幸
		責任者	伊万里土木事務所	所 長	鳥井 雪広

事 業 区 分	産業活性化事業	事 業 名	地区名等	総事業費	約 20 億円
		港湾整備事業	伊万里港 (久原南地区)		
事 業 地			着工予定年度	完成予定年度	
伊万里市山代町楠久津、久原地内			令和 5 年度	令和 14 年度	
事 業 目 的			事 業 内 容		
<p>港湾計画上、久原臨港道路は 4 車線の計画となっているが、現状は暫定 2 車線で整備・供用している。2025 年の SUMCO 増設工場のフル稼働に伴い、伊万里団地に係る物流・人流、また七ツ島地区と往来するコンテナ車両などで、特に朝夕の出退勤時の渋滞が懸念されるため、4 車線化の整備が必要である。</p>			臨港道路久原線 L=2,890m		
評価の視点	評価内容				評価
(1)位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域交流部の政策に関する方針 地域交流部の施策に関する方針等に位置付けられている。 10 点 ○港湾計画等 港湾法上の計画の位置づけが有る施設(重要港湾)。 50 点 ○地域振興の物流拠点 伊万里市内に留まらず市外と伊万里団地や七ツ島地区等の物流・人流に影響し、範囲は広範囲となる。 30 点 ○プロジェクト関連 (株)SUMCO の工場増設に関連して早急に整備を必要とする事業。 10 点 				A
(2)必要性・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○費用対効果(B/C) 費用対効果(1.0 以上～2.0 未満)。 40 点 ○港湾施設等の充当率 道路等の臨港交通施設の車線不足。 20 点 ○港湾の施設の技術上の基準等との整合 基準から大きく逸脱しており危険である。 20 点 				A 80 点
(3)実施環境	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の協力体制 伊万里市が計画に対して熱心で積極的である。 40 点 ○地元関係者との合意 地元関係者が事業に対して協力的で、同意が得られている。 40 点 				A 80 点

評 価	AAA	条 件 等
判 断	I	
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
工事機械は排出ガス対策型を使用し、周辺大気に配慮する。

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト縮減策

内 容
より経済的な工法を検討し採用する。環境発生材の有効活用、再生材の使用等より安価な材料を使用する。

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

○その他

内 容

※ 特に記述することがあれば記載。

久原臨港道路【整備系】



1

【整備系】

久原臨港道路[久原南工区](伊万里市山代町楠久津、久原地内)

整備の必要性

港湾計画上、久原臨港道路は設計交通量から4車線の計画となっているが、現状は暫定2車線で整備・供用している。2025年のSUMCO新工場のフル稼働に際し、伊万里団地に係る物流・人流、また七ツ島地区と往来するコンテナ車両などで特に朝夕の出退勤時の渋滞が懸念されるため、4車線化の整備が必要である。

渋滞状況

楠久津交差点 国道204号側



楠久津交差点 臨港道路久原線側



【事業概要】工期：R5～R14(10ヶ年)
 総事業費：約20億円
 整備内容：臨港道路4車線化
 延長：L=2, 890m

2

公共事業新規評価調書（整備系）

本部名 部名	地域交流部	確認者	港湾課	課長	中西 正幸
		作成者	佐賀土木事務所	所長	川口 孝司
事業 区分	整備系 生活関連事業	事業名	地区名等 住ノ江港 (芦刈地区)	総事業費	150百万円
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
小城市	芦刈町	永田 地内	令和5年度	令和7年度	
事業目的			事業計画内容		
住ノ江西1号臨港道路は、近年、物揚場に25tクレーンを配置し、漁船から資材の搬入・搬出を行うようになってきている。漁などの繁忙期には車両が混雑し、海上に漁船が待機し非効率な荷役を強いられている。これを解消するため作業車が既設進入路から新設進入路に抜ける導線の確保が望まれている。			臨港道路改良 L=41m		
評価の視点		評価内容			評価
(1) 位置づけ	○各部の施策に関する方針等 地域交流部の施策に関する方針等に位置付けられている 10 点 ○港湾計画等 国との協議がなされている施設 50 点 ○地域活動・交流の拠点 地域の振興や、防災に中規模に寄与する 20 点 ○プロジェクト関連 プロジェクトや、他事業との関連が無い 0 点			(80) 点	A
(2) 必要性・効果	○事業対効果 B/C 費用対効果1.0以上2.0未満 40 点 ○施設の充足率 道路等の臨港交通施設の不足 20 点 ○港湾の施設の技術上の基準等との整合 基準等から大きく逸脱しており、危険である 20 点			(80) 点	A
(3) 実施環境	○地元関係者との合意 市町村、協議会などが計画に対して熱心で、地元に対しての取り組みが積極的である。 60 点 ○市町村の協力体制 事業に対して積極的であり、同意が得られている 20 点			(80) 点	A
評価	A	A	A	条件等	
判断	I				
	優先的に事業を実施				

定性評価調書

○自然環境保全

内 容
自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。

※動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○生活環境対策

内 容
工事機械は排出ガス対策型を使用し、周辺大気に配慮する。

※大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

○コスト削減策

内 容
より経済的な工法を検討し採用する。 環境発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。

※再生材・発生材の使用等、具体的なコスト削減策を記載。

○その他

内 容

※特に記述することがあれば記載。

住ノ江西1号臨港道路【整備系】



1

【整備系】

住ノ江西1号臨港道路[芦刈地区](小城市芦刈町)

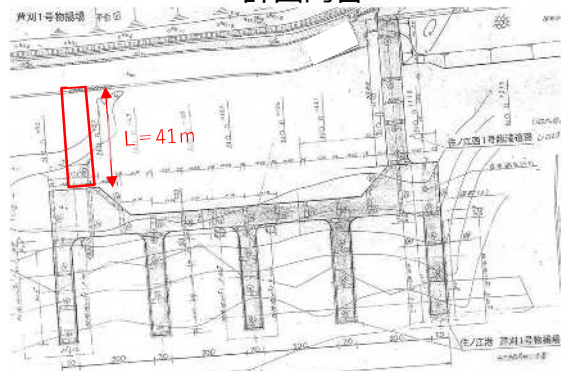
整備の必要性

住ノ江西1号臨港道路は、近年、物揚場に25tクレーンを配置し、漁船から資材の搬入・搬出を行うようになってきている。漁などの繁忙期には車両が混雑し、海上に漁船が待機し非効率な荷役を強いられている。これを解消するため作業車が既設進入路から新設進入路に抜ける導線の確保が望まれている。

物揚場及び臨港道路の現状



計画内容



【事業概要】工期：R5～R7(3ヶ年)
 総事業費：約150百万円
 整備内容：臨港道路改良
 延長：L=41m